

## 国際学会合

学部学生・大学院生・若手研究者等の知識や技術の向上を目的として、日本及び海外においてセミナー・シンポジウム等の学術会合を実施しています。

## 国際セミナー

- 魅力ある海外研修プログラムの構築を目指して～タイ研修参加学生からの報告～ (2012.12.14、東京)  
Exciting Experiences of Overseas Training Program —Reports from Students Attended Thai Program—
- 現在および将来における歯科矯正学の原理 (2013.4.11～12、ホーチミン)  
Current and Future Principles in Orthodontics
- 第1回チュラロンコン大学・東京医科歯科大学 矯正科合同セミナー (2013.5.13、バンコク)  
The 1st Joint Seminar on Orthodontics between Chulalongkorn University and Tokyo Medical and Dental University
- 日本のオーラルヘルスプロモーションプログラム～インドネシアと比較して～ (2013.9.6、ジャカルタ)  
Oral Health Promotion Programs in Japan — Compared with Situation in Indonesia—



## 国際シンポジウム

- 国際医療人の育成を目指して～元学部留学生による歯学教育の国際評価～ (2013.2.13、東京)  
Educating International Dental Professionals ④ -Experiences of TMDU Alumni from Asian Countries-
- 日本の歯学教育の国際汎用性を考える～元留学生による大学院教育の国際評価～ (2013.3.11、東京)  
Quality Assurance of Education in Japan ④ -Experiences of TMDU Alumni from Southeast Asian Countries-
- 東南アジア歯科医療ネットワークの構築を目指した大学間交流プログラム (2013.10.28、東京)  
Inter-university Exchange Program toward Dental Networking in Southeast Asia ④



## 教育体制・教育環境

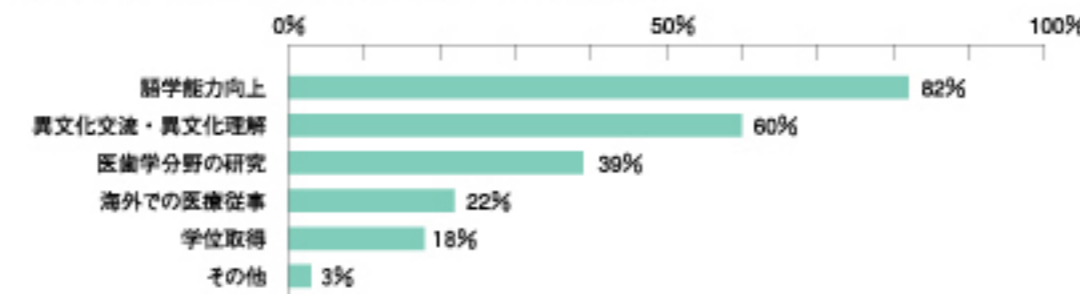
コンソーシアムを形成するチュラロンコン大学(タイ)、インドネシア大学(インドネシア)、ホーチミン医科薬科大学(ベトナム)の3大学、及び東京医科歯科大学ではテレビ会議システムを導入し、講義などの相互配信をしています。また、講義の自動収録装置や自学自習システムの活用により、海外に派遣された学生が派遣期間中に出席できなかった授業内容の自習を可能にしたり、海外から受け入れた学生が研修プログラム参加期間中の復習や課題のレポート作成を効率よく行うことができるようにする等、学習機会の利便性向上に力を入れています。



## 学生アンケートの結果

歯学部学生455名を対象に「今後、留学したいか」と聞いたところ80%の学生が留学したいと回答しました。留学の目的について質問したところグラフのようになりました。

留学するならどういった目的で留学したいですか(複数回答)



## 参加学生の感想

医学部医学科4年  
国際交流をする上で重要なのはなるべく相手と多く接して関係を築くということ、また一辺倒に欧米に憧れて欧米としかつながりを持たないのはアンバランスで、よく似た文化をもつアジア人とも友人として、何かをコラボレーションしておこなっているような仲として付き合っていくと楽しく感じました。

歯学部総合研究科 部分床歯補綴学分野 博士課程3年  
このプログラムに参加して、ただ一方的に見学して終わる交流よりも、はるかに密度の高い意見の交換ができたと感じます。ベテランの先生方はもちろん、同世代の若い歯科医の友人を作ることができたことが一番の収穫でした。彼らを通して、海外での歯科医療の実態を知ることがもちろん、同世代の友人がこれからのように臨床に研究に活躍しているのか興味をもって追うことができます。そして、それが何よりも私の臨床・研究への高いモチベーションにつながると思えました。

歯学部歯学科5年  
何より、現地の同世代の学生とのコミュニケーションが自分にとっては一番の異文化交流でした。同じ歳でしたが、生活環境、教育システムなど、取り巻くものが違うことによって、その人の考え方や価値観なども異なったものになることを実感することができました。そして同じ歯科医師を目指す者同士でそれに対する意識や姿勢について話ることができたのは、今後の自分の将来を考えるうえでも非常に参考になるものであったと思います。異なる環境、文化の中で生活してきた人とコミュニケーションを取ることは、自分の考え方や、さらには生き方に新たな選択肢を示してくれるもので、これからの自分にとっては必ず必要なことであると実感しました。

歯学部口腔保健学科4年  
一緒にタイに行った日本の学生やタイの学生と交流を深めることができ、協力しながら充実した研修期間を過ごすことができました。普段の旅行では経験することができない現地の暮らし・文化・歯科医療現場について知ることができました。



チュラロンコン大学医学部6年  
The clinical experience in Japan will be an invaluable. It is also useful to know how patients are investigated and treated in Japan and decide which to apply to my future patients when I go back to Thailand.

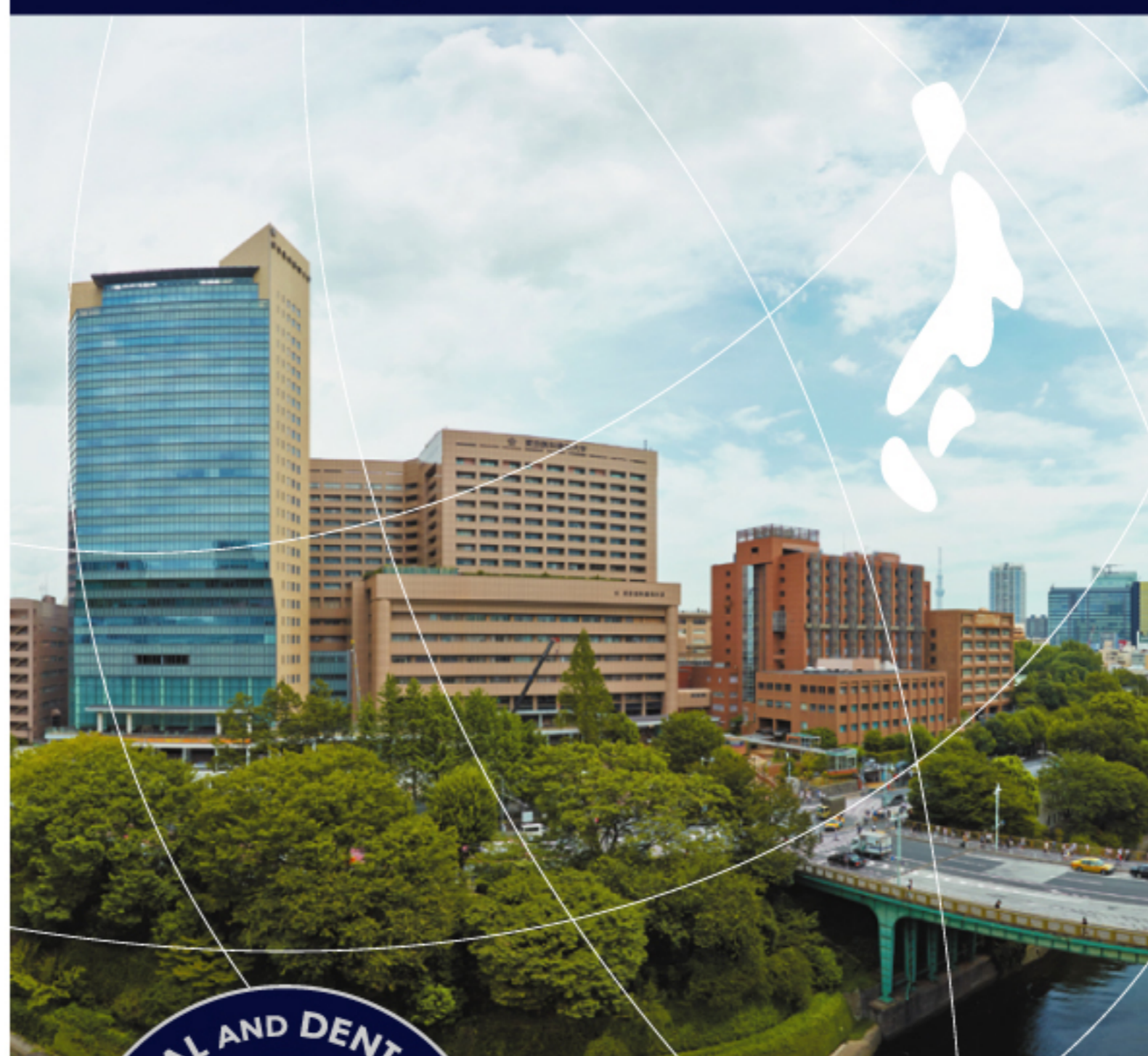
チュラロンコン大学歯学部4年  
This program provided me the opportunity to discover many fields of dentistry I haven't known. I believe that this experience would help me to decide my future way. I would like to continue study in the post graduated program which might be in Japan.

インドネシア大学歯学部4年  
This program makes me more interested in taking Ph.D course and do research after I graduate. The professors and faculty members that I met had inspired me to have a career in the academic field. As a leading university in research with advanced technology, I think Japan and TMDU has a very promising future, so that I would like to continue my higher education here at TMDU.

ホーチミン医科薬科大学歯学部6年  
Through this Inter-university exchange program, I appreciate the new technology of Japan, especially in the field of basic sciences. They can do many researches using the latest technology. I hope to have another chance to come back Japan for my postgraduate study. Therefore I will come back to my university to broaden the knowledge for the younger generation.

## 大学の世界展開力強化事業 Re-Inventing Japan Project

## 東南アジア医療・歯科医療ネットワークの構築を目指した大学間交流プログラム Inter-university exchange program toward medical and dental networking in Southeast Asia



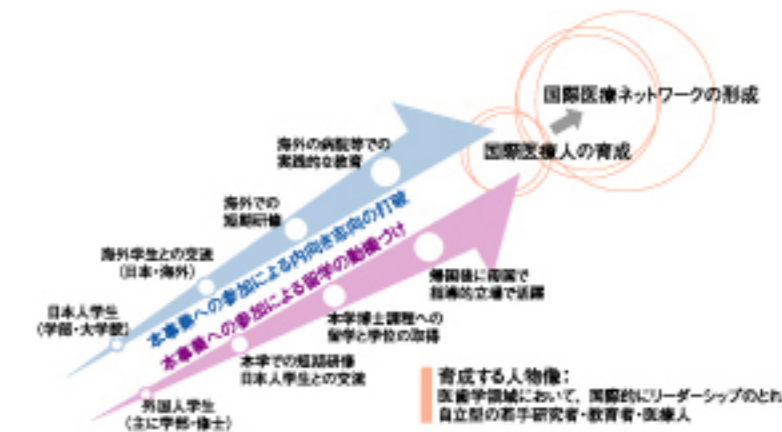
〒113-8510 東京都文京区湯島1-5-45  
 国立大学法人  
**東京医科歯科大学** 国際交流センター  
**TOKYO MEDICAL AND DENTAL UNIVERSITY**  
 International Exchange Center  
 1-5-45 Yushima, Bunkyo-ku, Tokyo  
 113-8510 JAPAN  
 e-mail : kokusai.adm@tmd.ac.jp  
 www.tmd.ac.jp/International/sekaitenkai/

## 大学の世界展開力強化事業 「東南アジア医療・歯科医療ネットワークの構築を目指した大学間交流プログラム」

事業推進責任者 東京医科歯科大学歯学部歯学部長 田上 順次

## 事業概要

本事業は、東京医科歯科大学がチュラロンコン大学(タイ)、インドネシア大学(インドネシア)、及びホーチミン医科薬科大学(ベトナム)と連携してコンソーシアムを形成し、東南アジア地域の医療・歯科医療ネットワーク形成、我が国の歯医学領域の世界展開力を強化する取組みです。我が国が有する先進的な医療・歯科医療機器や材料、最新の医療・歯科医療技術等を基盤として、東南アジアにおいて学生交流、国際学会合、グローバルリトリート等の大学間交流を推進し「歯医学領域において、国際的にリーダーシップのとれる自立型の若手研究教育者・医療者」を育成することが目的です。



具体的には、以下のような能力を有する歯医学領域の専門家の養成を目指しています。

- 英語を共通語として理解し、英語によるコミュニケーションが円滑にできる能力
- 自国の文化伝統に誇りを持ちながら、他国の人々の生活環境も把握して、政治、経済・宗教・習慣・行動様式・食生活などの異文化を理解し、文化の多様性を受容できる能力
- 各国の医科・歯科の保健状況を把握してその問題点を指摘し、解決すべき問題に優先順位を付し、問題を解決するために必要となる研究や対策を自ら考えて実践する能力
- 専門領域に関する生涯学習を自立的に継続していく能力
- 海外関係者と協力連携して歯医学領域の研究・教育・診療を指導的立場で牽引していく能力

学生交流プログラムでは、「国際歯学研究プログラム」と「国際医療・歯科医療研修プログラム」を実施しています。

## 質の保証を伴う学生交流プログラム

### 派遣

- 「国際歯学研究プログラム」  
例：医学部学生の6ヶ月間のプロジェクト研究プログラム<単位認定>
- 「国際医療・歯科医療研修プログラム」  
例：歯学部学生の短期海外研修プログラム  
英語等の事前研修等を含む<単位認定>

### 受入

- 「国際歯学研究プログラム」  
例：大学の各分野での研究プログラム<単位認定>
- 「国際医療・歯科医療研修プログラム」  
例：本学での病院実習、研修プログラム<単位認定>



4大学の歯学部長による同意調印式





## 海外学生受入れプログラム TMDU Dental Training Program

チュラロンコン大学(タイ)、インドネシア大学(インドネシア)、ホーチミン医科薬科大学(ベトナム)から歯学部学生を同時期に受け入れて、東京医科歯科大学の学生と一緒に多国籍交流を行っています。小人数グループでの基礎・臨床分野における歯科研修、歯科医師になるための必須基本技術である歯型彫刻やワイヤーベンディングに関する歯科技術コンテスト、歯科関連企業の見学等の英語による実践的な歯科研修プログラムを実施します。また、学術交流以外にも各国の歌やダンスを披露するなどの文化交流イベント等を通し、学生同士が楽しく交流を深める機会も提供しています。東京医科歯科大学は、プログラムに参加した各国の学生が歯科専門用語を共通理解できるように、英語、日本語、タイ語、インドネシア語、ベトナム語の5ヶ国語による「基本歯科用語集」を作成し、活用しています。

to Japan



## グローバルリトリート

日本・タイ・インドネシア・ベトナムの学生や教職員が、寝食を共にしながら宿泊形式で研修・交流を行うグローバルリトリート。専門知識や技術の向上だけでなく、各国の学生や若手研究者の国際交流への関心を高め、世界をリードできる歯医学領域の専門家の育成を目指します。

グローバルリトリートでは異なる学生どうしが同じ部屋に宿泊し、寝食を共にしながらのワークショップや文化交流を通して、学生たちの絆が非常に深まります。グローバルリトリートでは派遣された国の生活や文化、歴史について理解を深められるよう Cultural Tour の機会も提供します。同世代の学生どうしが楽しく国際交流を行うことは、関係の継続性につながり、将来の医療ネットワークの構築に結びつくのです。密度の高い学生交流は、学生の英語能力やプレゼンテーション能力、専門知識・技術の向上だけでなく、国際交流への関心の高まり、また将来の国際医療人の育成が期待されます。



プログラム名	2012年			2013年		
	タイ	インドネシア	ベトナム	タイ	インドネシア	ベトナム
学部学生	1	0	0	1	2	0
大学院生	8	8	24	10	10	30
計	9	8	24	11	12	30

## 学生派遣プログラム

海外の保健医療状況を把握し、国際的な視野で医療問題をとらえることができる人材の育成を目指し、学生派遣プログラムを実施しています。派遣される学生は、学業成績や語学能力により選抜されます。派遣された学生は、海外の大学の指導教員の元で研修するだけでなく、現地の保健所・保健センター、学校等における地域保健プロジェクトでの研修等、実践的な歯医学教育・指導を受け、それにより日本と海外の教育や保健医療の違いを知る貴重な機会となります。

From Japan



プログラム名	2012年			2013年		
	タイ	インドネシア	ベトナム	タイ	インドネシア	ベトナム
学部学生	2	0	0	2	1	0
大学院生	4	0	4	25	5	6
計	6	0	4	27	6	6

